

変動型最低制限価格の計算方法について

契約検査課執行の清掃等業務委託

最低制限価格は「平均応札額（※1）に90%を乗じて得た額」とします。

（※1 予定価格の50%に満たない入札、無効とした入札等を除く。以下「算定対象入札」とします。）

ただし、計算の結果、算出した最低制限価格が予定価格の50%に満たない場合又は算定対象入札が3社に満たないときは予定価格に50%を乗じて得た額を最低制限価格とします。

【変動型最低制限価格計算例】

変動型最低制限価格の計算方法による入札結果は次のとおりとなります。

（予定価格：10,000,000円・税抜）

参加者	入札額	結果
①A社	2,500,000円	失格
②B社	4,500,000円	失格
③C社	7,200,000円	失格
④D社	8,800,000円	落札者
⑤E社	9,000,000円	
⑥F社	9,200,000円	
⑦G社	9,500,000円	
⑧H社	9,700,000円	
⑨I社	9,800,000円	
⑩K社	9,900,000円	
⑪L社	9,950,000円	
⑫M社	10,800,000円	

1. 予定価格以下の応札者数11社のうち予定価格の50%未満の応札者である①A社、②B社は平均応札額算定の入札には含まない。
2. 平均応札額の計算にあたっては、予定価格以下の応札者のうち2社を除いた9社が対象となり③から⑪の入札額で計算する。
 - ・平均応札額 $83,050,000$ （③から⑪の合計）
 $\div 9 = 9,227,777$ 円（小数点以下切り捨て）
 - ・最低制限価格 $9,227,777 \times 0.9 = 8,304,999$ 円（小数点以下切り捨て）

よって①A社、②B社、③C社が失格で、④D社が落札者となります。